

田富小だより

令和4年度
第9号
12月23日
田富小学校



2学期を振り返って

回覧

およそ1カ月に渡って世界中が熱狂したサッカーワールドカップカタール大会も、12月19日、アルゼンチンの優勝で幕を閉じました。ベスト8には入れなかったものの、日本の善戦も記憶に残る大会になりました（予選リーグの成績などを参考にした順位では、堂々の9位ということです）。その影響もあってか、休み時間にはサッカーをする児童の姿が多くみられるようになりました。北風が冷たいのですが、子ども達は今日も元気に汗をかきながら、必死にボールを追っています。

さて、2学期は運動会に始まって、6年生の修学旅行、陸上記録会（今年は、久しぶりに中央市・昭和町の共同開催となり、9校の児童が揃っての大会となり、応援にも熱が入りました）と続き、秋の校外学習のシーズンに入りました。1年生は秋を見つけに金川の森に行き、2年生は県立科学館に行きました（今年は、久しぶりに身延線に乗って甲府まで行きました。公共交通機関を利用する学習も以前はずっと行われていたのですが、感染症の影響でなかなか実施できない状況でした。今回、混雑しない時間帯を使い、すいている電車に乗り込みました。子ども達も大喜びでした）。3年生は、警察署や消防署への見学



にでかけました。県民の安全を守る仕事をする方々に話を聞いたり、施設を見学したりと、様々な収穫がありました。

そんな中、4年生は総合的な学習で福祉についての学びを深めています。单元名は、「みんなとつながって」。ハンディのある人もない人もみんな一緒に生きていこうということです。この学習の一環としてかつて田富中学校から日川高校へ進学し、バスケットに打ち込んだ田中正幸さんを講師にお招きして講演会を開きました。病気の影響で、右半身に麻痺を持ちながらも、懸命にリハビリに取り組み、バスケットボールの試合に出場し、左手1本でシュートを入れた話は、あまりにも有名です。4年生だけでなく、5・6年生も一緒に聴く機会としました。田中さんの話を聞き、「自分も夢に向かって努力していきたい」、「諦めずに頑張りたい」と感想を持つことができました。とてもいい講演会になったと、田中様にも感謝しております。ありがとうございました。



最近では、ウクライナの子ども達に支援をしようと、フレンドシップ委員会が中心になって募金活動も展開しました。少しでも支援したいという気持ちから集められた募金は、35,589円にもなりました。同じ地球に住む仲間として、ウクライナの子ども達の幸せを願わずにはいられません。児童・保護者の皆様のご協力に感謝いたします。



ワールドカップ出場国の中には、かつて内紛で厳しい環境下にあったクロアチアなどの国も出場していました。クロアチアには、いまだに地雷が埋まっているところもあると聞きます。2023年は、世界中の子ども達が夢を追いかけられるような世界になってくれるよう願って止みません。

